

第1章 学内に所蔵する図書・資料のさがし方



1



—— 図書館 100%活用法 ——

図書館では図書（単行書、全集、叢書等）や逐次刊行物（学術雑誌、白書、統計、年鑑等）、新聞等の印刷資料以外に、マイクロ資料、CD、DVDなどの視聴覚資料、CD-ROM、電子ジャーナルやデータベースなど多様な資料を提供しています。

これらの様々な資料の中から必要なものを効率よく正確にさがし出すためには、資料の特性に応じた検索が必要です。

1-1 各種資料の検索方法

書籍（図書）をさがしたい	CHOISで検索 1-2 参照 (p.3-) 電子ブックをさがす 9-3 参照 (p.35-)	
雑誌をさがしたい (雑誌、紀要、白書、年鑑、判例集など)	CHOISで検索 1-2 参照 (p.3-) 電子ジャーナルリストで検索 7章参照 (p.25-) ※ CHOIS でみつからない雑誌（特に洋雑誌、新聞）は、電子ジャーナルに収録されている場合があります。	
雑誌記事・論文をさがしたい	特定の記事・論文をさがす (掲載された雑誌タイトルや巻号の情報がわかる)	CHOISで検索 1-2 参照 (p.3-) 電子ジャーナルリストで検索 7章参照 (p.25) ※掲載された雑誌のタイトルで検索してください。
	論文のテーマや著者などで記事・論文をさがす	雑誌記事索引データベースで調べる 6章参照 (p.19-) 電子ジャーナルで検索 7章参照 (p.25-) データベースで検索 9章参照 (p.32-) ※判例などは特定のデータベースで調べられる場合があります。
新聞をさがしたい	CHOISで検索 1-2 参照 (p.3-) 新聞記事データベースで検索 8章参照 (p.29-) ※朝日、日経、毎日、読売、New York Times など外国の主要な新聞は、データベースで記事を読むことができます。	
視聴覚資料をさがしたい (CD、DVD、レコード、ビデオなど)	CHOISで検索 1-2 参照 (p.3-) リストで調べる ※リストは中央図書館4階視聴覚室前に備え付けてあります。なお、レコード（音楽資料）については、CHOISにデータが登録されていないので、リストをご覧ください。	

1-2 CHOIS (中央大学図書館 OPAC)

中央大学図書館のOPAC (オンライン蔵書検索システム) には^{チョイス}CHOIS (CHuo Online Information System) という名前がつけられています。

CHOISはインターネットを通じてどこからでも利用することができます。中央大学図書館のホームページからアクセスして下さい。

図書館ホームページアドレス：<https://www.chuo-u.ac.jp/library/>

CHOISアドレス：<https://opac.library.chuo-u.ac.jp/>

CHOIS でできること

CHOISでは、次のようなことができます。

- 1) 蔵書検索：中央大学図書館および学内研究所の蔵書の検索ができます。
- 2) 予約申込：貸出中の資料の予約や、他キャンパスからの資料の取り寄せ申込みができます。
- 3) 利用状況の照会：統合認証でログインし、自分が借りている図書の返却日や予約状況の確認や、貸出期間の延長ができます。
- 4) 新着案内：新着図書のデータを見ることができます。
- 5) 雑誌タイトルリスト：図書館で所蔵している雑誌・新聞をタイトルの頭文字から検索し、一覧として確認できます。
- 6) 利用者情報の確認・修正：メールアドレスの変更手続を行うことができます。
- 7) マイフォルダ：CHOIS検索結果から気になった資料をブックマーク登録したり、検索式を登録することができます。

操作方法がわからなくなったら

CHOISを利用する上でわからない点がありましたら、画面上に表示される「？」を参照して下さい。さらに詳しいことを知りたい方のために、操作方法を案内する CHOIS アドバイザーが下記の間帯に中央図書館 2 階フロアにいます。「CHOIS ADVISER」のマークのついたワイン色のエプロンが目印です。質問などありましたら遠慮なくおたずねください。

CHOISアドバイザー質問受付時間：

授業 (通教スクーリングを含む) 期間中 月曜～金曜日 13:00～17:00

何を手がかりに検索しますか？

検索画面には、簡易検索画面と検索項目を増やした詳細検索画面の2種類があります。主な検索項目を紹介します。

CHOISの詳細検索画面

検索項目

資料種別	検索対象を限定します。
所蔵館 配置場所	検索対象を所蔵している図書館・室や配架している場所で限定できます。
タイトル	単行本、全集および全集中の内容作品名、叢書、雑誌、白書、年鑑、統計書などの書名、雑誌の特集名を入力して検索します（雑誌論文名、論文著者等からは検索できません）。
著者名	著者、編者、訳者、共著者など、その本を著した個人名、団体名、会議名を入力して検索します。（論文著者からは検索できません）
件名	図書・資料で扱われているテーマ（主題や概念）を表すことば（件名）を入力して検索します。 件名は端末機の近くにおいてある「件名標目表」を使って調べます（p.6 参照）。

[検索オプション]

出版年	検索対象を出版年で限定する場合に便利です。
ISBN/ISSN	タイトルごとに図書に付与されている International Standard Book Number（国際標準図書番号）および逐次刊行物に付与されている International Standard Serial Number（国際標準逐次刊行物番号）で検索します。特定の資料を探す際に便利です。
分類	主題を数字であらわす分類番号を入力して検索します。和書は NDC（日本十進分類法）で、洋書は DC（デューイ十進分類法）で分類番号を決めています（p.5 参照）。
言語	検索対象を資料が書かれている言語で限定できます。

1-3 主題からのアプローチ

タイトルや著者がわからないときは、分類番号や件名を活用し、調査したい内容(特定の主題や事から)からアプローチする方法が便利です。

主題から文献をさがす場合の要となるのが、「分類法」と「件名標目表」の使い方をマスターすることです。

分類からの検索

分類

図書館では知的活動の所産である図書・資料の内容を、学問・知識の分類を基礎にしながら、その主題分類の体系全体を0～9の数字を組み合わせた記号の体系に置きかえて表現します。

例：「社会科学」一般は	⇒ 300
社会科学の中の「経済」は	⇒ 330
またその中の「経済学」は	⇒ 331
その中の「消費の理論」は	⇒ 331.87

分類法

分類法は、学問・研究の進展や社会の変化により生じる新しい主題に対応するために時々改訂され、細部の分類が多少変更されます。

中央大学図書館では、広く使われている2つの分類法を採用しています。

「日本十進分類法」(NDC=Nippon Decimal Classification) 和書(日本語および中国語、朝鮮・韓国語)の図書・資料の分類に用いています。(p.67～75 参照)

「デューイ十進分類法」(DDC=Dewey Decimal Classification) 洋書(漢字を利用しない言語)の分類に用いています。

それぞれの図書室で利用している版は次の通りです。

	図書館・室	和書	洋書
1	中央図書館ほか 2,3以外の図書館・室※	新訂 NDC7版	DDC15版
2	理工分館図書室	NDC8版	DDC20版
3	市ヶ谷田町 (国際情報学部図書室)		

※このうち、中央図書館の開架閲覧室に配架されている1984～1995年受入の資料はNDC8版(1978年)を使用しています。

使い方の手順

NDCは、CHOIS 端末機の側または各カウンタ

ーに備え付けてあります。これを使って求める主題を表す〈分類番号〉を知るには、以下のような手順になります。

①慣れないうちは、まず、NDCの〈相関索引〉で、求める主題を表わす言葉から分類番号を調べてみます。

例：環 境 (地理学)	290.13
〃 (動物学)	481.77
〃 (生物学)	468.2
〃 (教育学)	371.4
〃 (植物学)	471.71
〃 (心理学)	141.92

②指示されるいくつかの〈分類番号〉を、分類表の本表(細目表)で確認します。分類番号は、数字の順に並んでいます。

③その〈分類番号〉の前後を見て、求めている主題のものがあるか等を判断・選択・確定します。

上の例では：〈290.13〉は地理学上の分類、〈468.2〉、〈471.71〉、〈481.77〉は生態学上の分類、〈371.4〉は、教育学における環境、〈141.92〉は、心理学上の環境の影響などに関する分類番号ということがわかるので、必要なものを選びます。

分類番号がわかったら

実際に書架で図書・資料を手にしながさがすか、CHOISで更に詳細を検索してみます。

図書・資料は、背に貼付されたラベルの1段目が分類番号となっており、その数字順に(数字が同じ場合には2行目の著者記号順に)、書架の左上から右へ、上から下へ並んでいます。

CHOISで検索する場合は詳細検索画面の、検索項目「分類」のところに、分類番号を入力して検索します。和書の場合は、〈NDC7:〉を、洋書の場合は、〈DC15:〉を分類番号の前に付けて検索します。

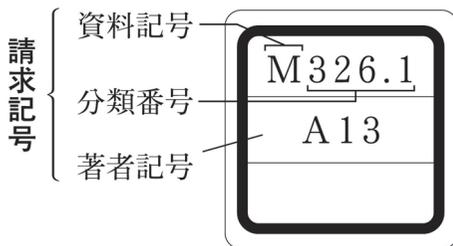
請求記号について

図書・資料の背ラベルに表示されているもので、原則として分類番号（記号）、著者記号から構成されます（伝記本は被伝者記号も）。これらは同一主題や同一著者の本を書架に集めることにより、図書・資料の利用と出納が容易になるよう工夫されたもので、図書・資料はこの請求記号順に配架されています。

資料記号の分け方

中央大学図書館では、図書とそれ以外の資料を区別するために、以下のような記号を分類番号の前に付けています。

資料記号	内 容
Z	新聞 雑誌 紀要 年報(論文集的なもの) その他の逐次的資料(官公庁等の定期的刊行物)
J	法令 判例(法体系を形成するもの) 通達 条例 団体規則 条約集 官報
D	辞典 事典(アルファベット・五十音順のもの)
Q	加除式資料
M	白書 年鑑 統計書 年報(資料的なもの) 事典(項目別のもの) 便覧 要覧 図鑑 地図 名簿 年表 索引 会議録 資(史)料集など特定のテーマについてデータを集めまとめたもの
R	録音資料(CD レコード 録音テープなど)
F	マイクロ資料
V	映像資料(ビデオ、DVD など)
K	肉筆本(古文書 書簡 日記 筆写本など)
C	CD-ROM ほか
G	美術作品、写真、版画など一枚もの
H	博物資料



件名からの検索

主題を表わす〈ことば〉(名辞=term=件名)から直接的に検索する方法です。

その主題を表す言葉が何通りかある場合も、1つの言葉に集約して表すことを原則とします。この時採用した見出し語を「件名標目」とよび、その「件名標目」に導かれる同義語・類語・関連語からの「…を見よ」「…をも見よ」などの案内を「件名参照」とよびます。

それを音順の一覧表にしたものを件名標目表といいます。

中央大学図書館では、「基本件名標目表」(M014.35/N77 参考)と「国立国会図書館件名標目表」(M014.35/Ko49 参考)を使用しています。これらの件名標目表に載っているキーワードを使って、主題から検索ができます。

基本件名標目表は CHOIS 端末機付近に置いてありますので、詳細は各件名標目表の凡例を見てください。

例：「経済統合」は、「ヨーロッパ共同体」から、「公害」のような広い概念は「環境汚染」「騒音」「地盤沈下」「廃棄物処理」などからも検索できます。

その他の主題検索

1. 各主題毎の文献目録

特定主題の文献目録は、それぞれの主題別に分類されています。主なものは、レファレンスルームの書架にあります。

2. 雑誌記事索引

主要雑誌に掲載された論文の記事検索は、第6章「雑誌論文のさがし方」を参照してください。

CHOIS 利用における注意事項

残念ながら、CHOIS の全データに対して件名のキーワードが入力されているわけではありません。したがって、件名検索の場合には、せっかく所蔵している該当図書が検索から漏れてしまうことがありますので、以下①～②の様に検索してください。

- ①検索画面の「件名」に求める主題の文献の件名を入力し、検索します。そこでまず文献を1件見つけます（件名を見つけるには、前掲の件名標目表を活用します）。
- ②その本のデータ中の「分類」記号（例 NDC7：331.2）をクリックすると、その主題分類の文献が検索できます。
- ③いくつかの違う件名で上記①②を試みてみます。

CHOIS ではタイトル中の各単語からも検索できます。タイトル検索を使ってその主題を表す言葉がタイトルの中に含まれている本をさがすことによって、その主題の文献を何冊も見つけることができます。これらの機能をうまく組み合わせて検索してください。

1-4 データベースを活用しよう！

図書館ではみなさんの学習活動に役立つ様々なデータベースを整備しています。データベースを使えば、新聞や雑誌の記事、論文情報や百科事典などを効率よく調べることができます。次章以降、本学図書館が契約している有料データベースや、無料で公開されているおすすめのデータベースを紹介していますので、ぜひ最大限に活用してください。原則学内LANに接続すれば利用可能ですが、一部利用場所が制限されるものや、ご自宅のパソコンなど学外から利用できるものもあります。利用方法について以下の通り表示していますので、参考にしてください。

学認 学認接続で学外からも利用できます。^{*1}

V VPN 接続で学外からも利用できます。^{*2}

Free インターネット環境があれば自由に利用できます。

図 中央図書館内でのみ利用できます。

*1…**学術認証フェデレーション（学認）**：統合認証アカウントで接続して利用する方法です。詳細は図書館ホームページの「学術認証フェデレーション（学認）によるデータベース検索方法」〈<http://www2.chuo-u.ac.jp/library/gakunin/gakunin.html>〉をご覧ください。

*2…**SSL-VPN 接続**：お手持ちのパソコンや端末にソフトウェア（Cisco AnyConnect）をインストールして利用する方法です。詳細は図書館ホームページの「中央大学 SSL-VPN によるデータベース検索」〈http://www2.chuo-u.ac.jp/library/ssl-vpn/ssl-vpn_manual.html〉をご覧ください。

*図書館ホームページの「データベースリスト」のページ〈<https://www2.chuo-u.ac.jp/library/databasetop.htm>〉、また本冊子の p.61 以降「データベース一覧」もぜひご覧ください。

コラム ①

レファレンスサービスをうまく使うコツ 質問するときは、最終的に必要なものをできるだけ具体的に！

一度ぐらいは、レファレンスカウンターで質問してみましたか？質問しに来たのに、逆にいろいろ聞かれて、驚いた方もいらっしゃるかもしれませんが、それには「わけ」があるのです。

“おもい”が通じたら、70%成功

皆さんの方からレファレンス担当者へ「的確に質問の内容と、質問の前に自分で調べた内容・使った資料・経過を伝えること」が、早く必要なものを手に入れる“コツ”です。しかし、これがなかなか難しいのです。

これは、おそらく最も難しい人対人のコミュニケーションのケースかもしれません。なぜなら、多くの場合、初対面であり、レファレンス担当者も皆さんを知らないし、皆さんの方でも「こんなことを聞いて笑われはしないか」というためらいもあり得るでしょうし、「この人にこんな難しいことを聞いても、わからないのではないか」というスタッフの能力に対する不信感・過小評価・遠慮もあり、また、何を調べているのかという、一種のプライバシーに係わることを見ず知らずの他人に明かすことへの不安感、等々もあって、なかなか最初から本当に必要なことをストレートに言葉に出してもらうことは容易ではないようです。

次のような例があります。

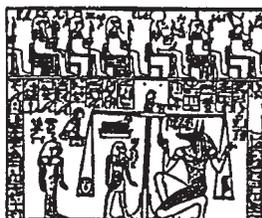
*「外国人の人名辞典をさがしています」

(必要なのは、あるフランス文学者の著作リストでした。フランス人→西洋人→人名辞典という連想の結果だったのです。一般の人名辞典を案内したのでは不十分な結果になります。)

*「ツタンカーメン展の展示目録をさがしています」

(必要なのは、イラストに使うための古代エジプトの絵・文字でした。そしてそれが出ているものとして「死者の書」の写真相が欲しかったので、死者の書→以前見た展覧会の展示品カタログ、という連想でした。)

括弧の中は対話を通じてわかったことです。



(アニのパピルスより)

これがわからないと的確な回答ができません。そこで担当者は、質問を的確に理解するためにインタビューを試みます。ここからレファレンス

サービスが始まります。

サービスを利用する皆さん側でも知っておいていただくと、有効なコミュニケーションが期待できるので、もう少し説明してみましょう。

レファレンス担当者からの質問の意味

担当者は皆さんの立場に立って、質問の自身を正確に細部まで認識した上で、的確な回答を出すことを心がけていますので、質問は次のような内容になります。

- ① 専門用語などのことばの確認をします。
- ② 本来の問題が何であるかを明確にします。
- ③ 質問の内容が十分に掘めたか確認します。
- ④ 求めるものの量、形態、程度、言語、範囲等の確認もします。
- ⑤ 最終的には、何を必要としているかを質問により浮かび上がらせるため、目的を聞くこともあります。

担当者は、質問に即して資料や情報と結びつけて回答します。そして必ずその回答で満足できたかどうかを確認めます。

満足な回答でなかった場合には、もう一度やり直します。

図書館のスタッフは全員、業務上で知り得た情報を、決して他人に漏らさないことを義務付けられています。安心して質問してください。お互いの信頼関係ができれば、話はしやすくなります。

差し迫ってからでは、じっくりとお話できません。ぜひカウンターがすいているところを見計らって来てみてください。

1-8 学内刊行雑誌

学内刊行雑誌のうち、多くのものは最新号が中央図書館2階雑誌コーナーに配架されています。太字のタイトルはさらにバックナンバー（過去に出版されたもので原則として最近の5年分）も配架されています。また、★のついた雑誌の一部は中央大学=学術リポジトリ（CHAIR）※からもご利用になれます。

- ★英語英米文学 [Z83/E5]
A-V [Z01/A30]
英米法学 [Z32/E10]
- ★企業研究 [Z33/C106:1]
- ★教育学論集 [Z37/K193]
教育・研究 [Z05/K439]
草のみどり [Z37/K147]
CUL (学生用) [Z01/C70] (改題)
CUL (研究者用) [Z01/C71] (改題)
- ★経済學論纂 [Z33/K150]
経理研究 [Z33/K95]
- ★CGSA フォーラム [Z33/C1:5] (中央)
- ★商學論纂 [Z67/S50]
- ★人文研紀要 [Z05/J147]
- ★総合政策研究 [Z05/S172:35]
- ★体育研究 [Z78/T23]
- ★大学院研究年報 経済学研究科篇 [Z33/C102]
〃 公共政策研究科篇 [Z31/D5]
〃 商学研究科篇 [Z33/C102:1]
〃 総合政策研究科篇 [Z05/C14:9]
〃 文学研究科篇 [Z90/C13]
〃 法学研究科篇 [Z32/C14:5]
★ 〃 理工学研究科篇* [Z40/C28]
※2006年以降は、CD-ROM版で刊行 (CZ40/C28)
- 地球環境レポート [Z51/C15] (中央)
- 中央英米文学 [Z93/C40]
- 中央史學 [Z21/C40]
- 中央社会学・社会情報学 [Z36/C23:1]
- 中央大学アジア史研究 [Z22/C80]
- 中央大学企業研究所研究活動年報 [Z33/C106:2]
[中央大学経済研究所] 研究会報 [Z33/C104]
- ★中央大学経済研究所年報 [Z33/C105]
※中央大学 学術リポジトリ：<https://chuo-u.repo.nii.ac.jp/>
本学の学術研究成果および教育成果を電子的に蓄積・保存し、インターネットで国内外に発信・公開しています。
- ★中央大學國文 [Z91/C15]
- ★中央大学史紀要 [Z37/C50]
中央大学社会科学研究所研究報告 [Z30/C70]
- ★中央大学社会科学研究所年報 [Z30/C70:3]
中央大学人文科学研究所年報 [M377:28/C66] (中央)
- ★中央大学政策文化総合研究所年報 [Z31/C67]
中央大学大学院論究 経済学・商学研究科篇 [Z33/C103]
〃 文学研究科篇 [Z90/C30]
中央大学ビジネススクールレビュー [Z33/C101:5]
中央大学文学部英米文学研究 [Z93/C30]
- ★[中央大学文学部] 紀要 [Z90/C10]
〃 言語・文学・文化 [Z90/C11:1]
〃 史学 [Z20/C30]
〃 社会学・社会情報学 [Z36/C14:61]
〃 哲学科 [Z10/C10]
- ★中央大学保健体育研究所紀要 [Z78/C30]
- ★中央大学理工学研究所年報 [Z40/C36]
- ★中央大学理工学研究所論文集 [Z40/C40]
中央大学理工学部紀要 [Z40/C30] (中央)
- ★中央大学論集 [Z05/C16:3]
中央評論 [Z05/C30]
- ★中央ロー・ジャーナル [Z32/C40]
中大仏文研究 [Z95/C10]
- ★ドイツ文化 [Z94/D15]
白門 [Z37/H10]
白門国文 [Z91/H12]
Hakumon ちゅうおう [Z37/H10:2]
- ★比較法雑誌 [Z32/H105]
- ★仏語仏文学研究 [Z85/F20]
- ★法學新報 [Z32/H240]
My CUL [Z01/C71:1]

(タイトルの50音順)